

ニュースリリース

2014年12月2日

報道関係各位

株式会社宣伝会議

株式会社宣伝会議より、マーケティング専門誌
『100万社のマーケティング』創刊

株式会社宣伝会議(本社:東京都港区)は2014年11月29日、新たにマーケティングの専門誌『100万社のマーケティング』を刊行しました。本誌は、2014年4月に広告・宣伝の専門誌『宣伝会議』が創刊60周年を迎えたのを記念し、刊行されるものです。以後、季刊にて刊行予定で、第2号は2015年2月28日に発行を予定しています。「デジタル時代の企業と消費者、そして社会の新しい関係づくりを考える」をコンセプトに、理論とケースの2つの柱で、企業の規模に関わらず取り入れられるマーケティング実践の方法論を紹介していきます。



<編集部より>

マーケティング専門誌『100万社のマーケティング』は月刊『宣伝会議』の創刊60周年を記念し、刊行するものです。日本全体が成熟化を迎えた今、さらにはグローバル化、消費行動を大きく変えるデジタル化の中で、読者の方たちから、課題の声を多く聞くようになりました。そんなお声を受け、広告だけでなくマーケティングコミュニケーション、さらにマーケティングそのものに本気で取り組もうと考える企業の方に役立てていただける専門誌を刊行することになりました。

企業規模の大小で出来ることが変わってしまう広告活動と違い、企業規模や歴史を問わず、多くの企業の方に役立てていただければという想いを込めて誌名に「100万社の」という言葉を冠しました。

末永いご支援、ご愛読のほど、よろしくお願い致します。

『100万社のマーケティング』創刊号の目次

■巻頭レポート：なぜ、お客様の気持ちが見えなくなるのか？

——顧客視点”こそ、マーケティング実践の原点

- 業績を伸ばし続ける企業、経営者の“超”お客様目線
——セイコーマート／永建工業
- 消費行動、メディア接触… 知っておくべき注目の変化、さらに見えなくなるお客様！
- “ビッグ”すぎるデータはいらない!? 必要なのは、お客様の気持ちを見える化すること
——オギノ（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）
- 歴史に名を残す、名経営者に学ぶお客様中心の思想

■巻頭特集：これだけは知っておきたい 「マーケティングの基本」

- 何から始めて、どこを目指す？ マーケティング戦略の全容を“すぐろく”で図解
——田中 洋（中央大学）
- 超・重要語だけピックアップ！「実務家に必要なマーケティング用語9」
——久保田進彦（青山学院大学）
- いま、実践に必要な考え方「変わる市場環境と向き合う手法と概念」
——山岡隆志（多摩大学大学院）
- 理論解説＋企業事例で解説「今、注目の手法&用語5」
 - ① ライフタイムバリュー ——小西圭介（電通）
 - ② ユーザー・イノベーション ——西川英彦（法政大学）
 - ③ サービスデザイン ——武山政直（慶應義塾大学）
 - ④ オムニチャネル ——金 雲鎬（日本大学）
 - ⑤ 4A ——小宮路雅博（成城大学）

■シリーズ企画：企業を変えた「売れ続けるための仕組み」

- 商品訴求と企業ブランディング 両輪で進める大麦市場活性化
——はくばく 代表取締役社長 長澤重俊
- ネットチャネルでの小ロット販売でB2BからB2Cへ顧客が拡大
——タイセイ 代表取締役社長 佐藤成一
- 屋上付き住宅を1900万円で販売 “選べないこと”が価値を創った
——innovation
- ネットでデザイナーズ家具を販売 絞り込むことが逆に人を集めた
——リグナ 代表取締役 小澤良介

■シリーズ企画：デジタル活用マーケティング

■その他、主な連載

- 世界の魅力的なSmall&Medium企業（第1回 ケンゾー エステイト）
- 潜入！ 経営者×クリエイターのアイデア会議（オリエンタルカーペット）
- 地域老舗企業発「デザイン思考」経営（名古屋篇）
- 「×ヘルスケア」で広がる市場
- 社員を動かす、企業トップのためのコミュニケーション術
- 中小企業の経営者が知っておきたい広報の基本 他

【創刊日】2014年11月29日（以後、季刊での刊行 *第2号は2015年2月28日刊行予定）

【定 価】1300円（税込） *全国の書店にて販売

【判型、他】A4変型、144ページ 【ISBN】15612-12